



▲スタートラインに並ぶシエルブルー鹿屋の6選手



▲中間スプリント賞、鹿児島賞を受賞したシエルブルー鹿屋の伊澤選手（写真中央）

国内トップレーサー志布志へ3度目の集結 第3回志布志クリテリウムが開催されました

2月23日、第3回JBCF志布志クリテリウムがしおかぜ公園特設コースにて開催されました。前日22日は、鹿屋・肝付でロードレースが開催。志布志クリテリウムは「クリテリウムツアー」の開幕戦として実施されました。レースには志布志市出身の津留峻選手（伊崎田中出身 シエルブルー鹿屋所屬）も出走し、地元の声援を受ける中、31位で完走しました。シエルブルー鹿屋の選手では、伊澤将也選手の8位が最高順位。伊澤選手は中間スプリント賞（設定された周回を最も早く走破した選手が受賞）を受賞しました。

シエルブルー鹿屋
監督・選手コメント

▼若藤英二監督

最後チームとしてまとまって動けて、位置取りがうまくいったと思います。その結果の二人の得点だったと思います（伊澤選手8位 道見選手9位）。



▼伊澤将也選手

クリテリウムは得意なのですが、位置取りが激しくて、そこにずっと苦手意識がありました。このレースではその部分をクリアすることができて、「中間スプリント賞」「鹿児島賞」を獲得できたと思います。



▲しぶし幼稚園の園児たちは「がんばれー!」の大声援

2月15日から19日の5日間、第72回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催され、曾於チームは総合10位となりました。
また、郷土入りとなった大会第4日目では、期間中最高となる日間5位と躍進しました。

本市関係の曾於チーム出走選手
中脇健太・加治屋毅・増田悠大
安川元氣（区間賞2回）
小田夕琥（区間賞1回）
野口凱輝（鹿屋農）・山元瞬太（鹿吏）



▲全てのランナーに全力応援（伊崎田小）



▲第4日10区
ゴールへ駆けこむ較島選手



▲第4日第6中継所
増田選手から四保選手へ

第72回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会 曾於チームは郷土入りで日間5位！総合は10位

▼第7中継所リポート

第7中継所（志布志運動公園陸上競技場前）は惜しくも襷はつながらず、4位からの繰り上げスタートとなりました。複数回7区、8区を担っている2選手にお話を伺いました。



▼7区 四保勇人さん（ゴール後）
「今大会が」僕のラストラン。郷土入りの日に起用していただいたが、思うような走りができなかったです。走らせてもらい、うれしい気持ちと、成績が伴わなかった悔しい気持ちと半々で…。悔しくもないレースだったと思います。この区間伊崎田から志布志は4度走る機会をいただきました。
▼ゴール後、他の選手と「最後（足が）動かなかった」と話していて、「悔しい！悔しい！」と何度も発してました。



▼8区 中脇健太さん（スタート前）
「子どもたちの力をもらいながら、自分の走りをしっかりしていきたいです。ひとつでも前を目指し、きばります！のぼります！走りぬきます！」
▼スタート前に娘さんから応援メッセージを受け取り、気合十分の様子でした。

